

すがわら進 News

川崎市会議員

小さな声を大きな力に

すがわら進ニュース 第139号

発行者：公明党川崎市議団
 発行人：菅原進
 住所：川崎市多摩区登戸3095
 電話：044-933-2043
 印刷所：光明印刷
 （幸区塚越4-345-105）

ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
 それが「すがわら進」の夢です——。

平成23年第5回定例会で「すがわら進」議員は5項目の質問を行いました。

- 1 バス交通の推進—コミュニティ交通
- 2 平和施策—核兵器の廃絶
- 3 国際交流—市内企業の海外展開
- 4 財政—借金にたよる財政運営を大転換
- 5 産業振興—総合特区と東北地方との事業連携

1 長尾台地区のコミュニティバスが実現!

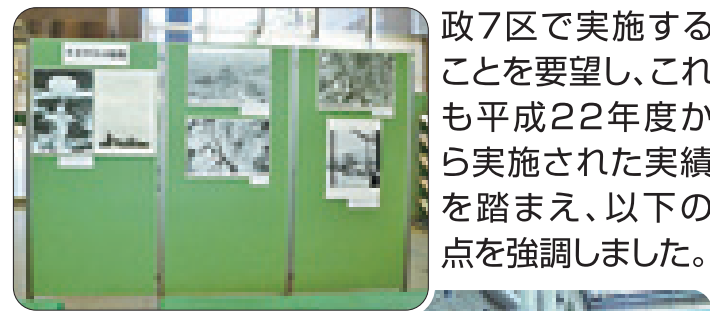
平成11年に「すがわら進」議員が提案した、コミュニティ交通が、長尾台地域の皆さんの努力もあり、平成23年11月10日から1ヶ月間の運行実験が実現しました。今後、本格運行に向け、市当局からは地元協議会の取り組みを支援していく、との答弁がありました。



長尾台地域で出発式

2 広島市と長崎市で核廃絶サミットの開催を

平和施策として、平和都市宣言している川崎市として平和市長会議に参加することを昨年6月に提案し実現したこと、さらに、市民の平和意識と啓発をすすめるために核兵器廃絶の平和展を行政7区で実施することを要望し、これも平成22年度から実施された実績を踏まえ、以下の点を強調しました。



巡回平和展が多摩区役所で実施されました

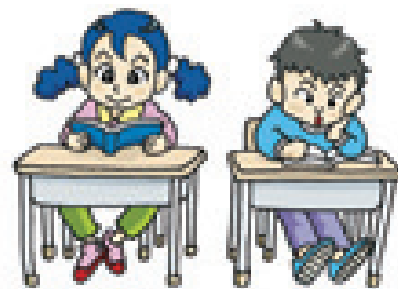


【1】2015年に国連のNPT再検討会議が開催されます。原爆が投下されてから70年目であり、広島市と長崎市で核廃絶サミットの開催を川崎市が働きかけるよう要望。

【2】平成23年10月にドイツのベルリンで核兵器廃絶への挑戦展がSGI(創価学会インタナショナル)と国際協力評議会と核戦争防止国際医師会議との共催で行われました。その内容を紹介して市長の核に対する見解を問いました。

3 社会のグローバル化に対応できる人材育成

「すがわら進」議員は市内中小企業の海外展開における課題への解決に向け、2つの提案をしました。
 (1)市の一般職員や教職員の国際化(2)今後の日本を担う子供たちの育成。



具体的には、年間で100名単位で海外の自治体との相互派遣を行うことになりました。

4 恒久的な歳出削減で予算の縮小を

大変厳しい経済見通しの中、今後は市債に頼る財政運営を改めて、思い切った歳出削減を提案。

平成24年度の予算については、予算編成の方針にもとづき歳出面で基礎的財政収支を対象に恒久的な歳出削減を行うよう要望。そして、前年度より予算規模を上回らないように努力すべきであることを強調しました。

5 東日本大震災復興特別区域法にもとづく東北と本市との事業連携を

川崎市の京浜臨海部ライフノベーション国際戦略総合特区が国によって指定され、14兆円の経済効果と23万人の雇用が期待されています。「すがわら進」議員は今後は、復興特別法にもとづき、東北地方で行われる医療等の研究開発の取り組みとの連携促進を要望しました。



京浜臨海部



すがわら進議員とダムスゴー大使

新任のデンマーク大使を表敬訪問!

昨年10月に着任された駐日デンマーク大使A.カーステン・ダムスゴー氏を平成24年1月16日に表敬訪問しました。

従来から進めている川崎市とデンマークとの産業交流を、グリーンイノベーションとライフノベーションの分野で更に進めていくことを確認。

また平成24年2月10日、11日に行われる川崎国際環境技術展への参加を要望しました。

市議会議員

すがわら進

暮らしの110番

市民相談
お気軽に!

控入室

電話：044-200-3361

自宅

電話：044-933-2043

FAX：044-933-1950

すがわら進のホームページをぜひご活用ください!

URL <http://www.susumu-news.com>

E-mail susumususumu@muf.biglobe.ne.jp

すがわら進の
プロフィール

- 昭和22年 秋田県生まれ ●海城学園中等部・高等部、中央大学法学部卒 ●デンマークの船会社に18年間勤務
- 川崎市議会議員に4期連続当選 ●公明党党本部中小企業活性化対策本部委員、県本部幹事、川崎総支部連合副会長、多摩第2支部長 ●川崎市議団団長 ●中央大学学員会幹事・中央大学評議委員 ●海城学園海原会常任幹事